



「滋賀いのちの電話」で相談に応じる男性

を増せば、それだけ多くの相談を受けられることは分かっているが、三上房枝事務局長は「相談員が増えないと曜日が増やせない。負荷が掛かりすぎてしまう」ともごかしやを語る。「きれいごとだけでは無い」。月2回ほど相談員をしているという男性は現役の会社員。「あほ」「無能」。どんなに誠意を持って取り組んでいても、心ない暴言を浴びせられることがあり、「心が引きちぎれる」こともある。

山口9/3

天然スギの家で疲労脳回復

天然の国産スギの家と、合板など新建材の家とでは住み心地に差があるのかを比較実験している九州大の研究グループが、天然材の家では疲れた脳が回復しやすく、体も活動的な状態になることを突き止めた。九州大での日本木材学会九州支部大会で3日発表する。

研究グループの清水邦義助教（農学研究院）は「スギの香りが影響したのでは」と推測する。

研究グループは、大分県日田市特産「津江杉」の家と、広さも見た目も同じ新建材の家を1棟ずつ大学構内に建設。2月から、実験内容を知らない学生10人が1人ずつそれぞれの家で作業したり一晩寝たりするのを、脳科学、生理学、心理学の観点から調べている。

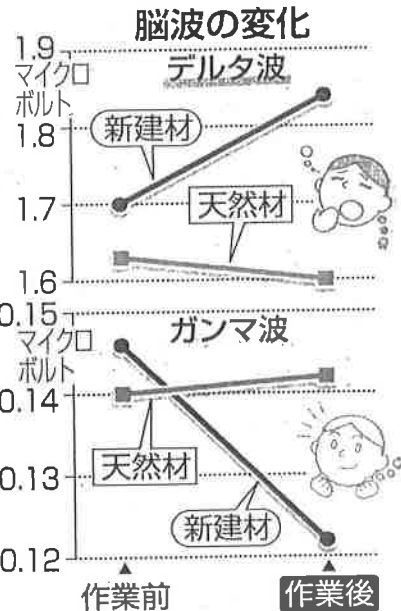
脳科学実験では、パソコンで30分間作業する前後に脳波を測定。新建材の家では作業後、眠いときに多いデルタ波が増加、精神活動が盛んなときに多いガンマ波は減少し、作業で脳が疲れたことを示した。天然材では脳波が作業前後でほとんど変わらず、作業中の脳の疲労が急速に回復したことを示している。

生理学実験では唾液中の成分を計測。天然材では新建材と比べ、交感神経活動が活発なときに増えるアミラーゼが多かった。体が活動的な状態にあったことを意味する。

心理学実験では緊張や不安の度合いを調べる心理学テストを実施。2棟の間で差はなく、どちらで過ごしても不快感を持つ人はいなかった。

比較実験で、天然の国産スギ家屋内でパソコン作業をする被験者の学生＝2月5日、福岡市東区の九州大

香りが影響？ 九大が合板と比較実験



清水助教は「被験者の脳と体は天然材の方が良い傾向を示した」と説明。「天然材の良さが分かれば国内林業の保護にもつながる」と期待する。実験は現在も継続中で、季節ごとの住み心地の違いも分析する予定だ。



「ほら、見てらんない。あの鴛鴦の葉の陰に黒い穴があいてるでしょう。寺のどこから、あそこへ秘密の抜け道が繋がっているはず。逆にそこからもくりこめば、寺にはいれます。覚蓮坊をとっ捕まえて、文章をとり返す。それしか方法はありません。でも、一か八かの勝負ですからね。しくじれば、これ、ですよ。幸吉は手で首を切るまねをしてみせた。

山大生と梅大生 本場で職場実習

山口大学経済学部3年の神原桃子さん(20)と梅光学院大学国際言語文化学部3年の高島万美子さん(20)が

編集制作センターや刷センターの見学、実験などを通して新聞事を学ぶ。新聞社を体験先に理由について神原「東日本大震災の被災地元の人が必要とする情報がある地方紙



ロシアの女帝ア
よって1738年
されたロシア国立
ワバレアカデミ
在、275周年を
います。
ワガノワバレエ
ミーでは、ワガノ
ッドと呼ばれるア
ーのバレエ訓練方
り、著名な教師ア
ピア・ワガノワ教
り確立されました



またの駅とはま
ねる人たちのため
域の住民がさまざ
ービスを提供し、
る場です。トイレが
気軽に立ち寄って

下されたが、その過心の出力が不均一に示す警報が計6。保安規定の「運転」の逸脱にあたる後、正常な状態に戻後11時に発電系統とを切り離して定検に日未明に原子炉を完了。

天然の国産スギの家と、住み心地に差があるのかを比較実験している九州大の合板など新建材の家とは

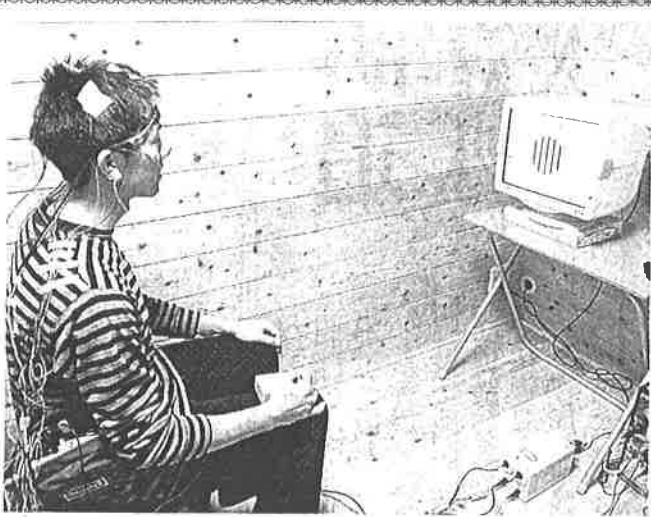
自然の国産スギの家と、住み心地に差があるのかを比較実験している九州大の合板など新建材の家とは

自然の国産スギの家と、住み心地に差があるのかを比較実験している九州大の合板など新建材の家とは

官日9/3

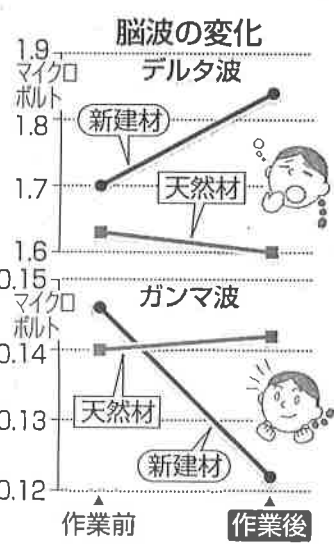
天然スギ家屋で脳回復

研究グループが、天然材の家では疲れた脳が回復しやすく、体も活動的な状態になることを突き止めた。九州大での日本木材学会九州支部大会で3日発表する。研究グループの清水邦義助教（農学研究院）は「スギの香りが影響したので



比較実験で、天然の国産スギ家屋内でパソコン作業をする被験者の学生＝2月5日、福岡市東区の九州大

九州大「香り影響」か合板と比較



研究グループが、天然材の家では疲れた脳が回復しやすく、体も活動的な状態になることを突き止めた。九州大での日本木材学会九州支部大会で3日発表する。研究グループの清水邦義助教（農学研究院）は「スギの香りが影響したので

必要度が低い。一要支援1、2」の高齢者向けサービス（予防給付）を、2017年は」と推測する。

研究グループは、大分県日田市特産「津江杉」の家と、広さも見た目も同じ新建材の家を1棟ずつ大学構内に建設。2月から、実験内容を知らない学生10人が1人ずつそれぞれの家で作業したり一晩寝たりするの

を、脳科学、生理学、心理学の観点から調べている。脳科学実験では、パソコンで30分間作業する前後に

脳波を測定。新建材の家では作業後、眠いときに多いデルタ波が増加、精神活動が盛んなときに多いガンマ波は減少し、作業で脳が疲れたことを示した。天然材では脳波が作業前後でほとんど変わらず、作業中の脳の疲労が急速に回復したことを示している。

生理学実験では唾液中の成分を計測。天然材では新建材と比べ、交感神経活動が活発なときに増えるアミラーゼが多かった。体が活動的な状態にあったことを意味する。

心理学実験では、緊張や不安の度合いを調べる心理学テストを実施。2棟の間で差はなく、どちらでも過剰しても不快感を持つ人はいなかった。

意「不安」 JAPPでJAPP全中

手を受ける」と主張。へや麦などの重要5維持を強く求めて氏らは8月に開かJPP全中合に合わせて、米国やカナダな体と意見交換。情進めた。

この日は、中央畜産会をはじめとする畜産関係の団体もブルネイ合合に関する情報収集の成果を報告。畜産の衰退を防ぐため、関税などを使うた現行の保護を維持するようあらためて訴えた。

再開した。この日の合合では、規制緩和に対する反対が強い「農業」「医療・介護」「雇用・人材」の各分野での分科会の設置を決めた。今後、この3分野について重点的に議論し、年内に中間整理を行う。

迅速に結論を出す必要がある重要テーマに関しては、民間議員に加え、安倍首相らも出席して議論する「課題別会

め、当面の基本方針を臨時国会前に取りまとめるよう指示した。

これを受け産業競争力会議は、農地集約を進めるために設立する「農地中間管理機構」や、減税で企業の事業再編などを後押しする「産業競争力強化法案」の在り方を議論し、具体策を詰める。その上で、政府は臨時国会前に「成長戦略実行パッケージ」

クロマグロの資源保護協議

資源の減少が懸念されている北太平洋海域のクロマグロの資源管理について話し合う「中西部太平洋まぐろ類委員会(WCPFC)」の小委員

補正予算など14議案を提案

西都市議会も

西都市議会は2日、本会議を開会。2013年度一般会計補正予算案など14議案が提案され、専決処分2件が報告された。

一般会計補正額は5億6513万円。主なものは柳瀬地区の農地排水工事への補助5437万円、口蹄疫の家畜埋却地の再生整備事業5170万円、西都見湯医療圏の将来ビジョン作成費用250万円など。